

鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議

日時：令和6年10月16日（水）

14時00分～

場所：鎌ヶ谷市役所6階

第1委員会室

－ 会 議 次 第 －

- 1 委嘱状交付式
- 2 開 会
- 3 自己紹介
- 4 議題（議長）
 - (1) 会長、副会長の選出について
 - (2) 会議の公開について
 - (3) 会議録署名人の選出について
 - (4) 「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和5年度事業に係る効果・検証」について
 - ア 事業概要（事務局説明）
 - イ 質疑応答・意見交換
 - (5) その他
- 5 閉 会

【目次】

1	「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」	
	令和5年度事業に係る効果・検証について・・・・・・・・	1
2	「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」	
	令和5年度事業実績一覧・・・・・・・・	7
○	危機管理体制・防災対策の強化・・・・・・・・	7
○	消防・救急・救助体制の充実・・・・・・・・	11
○	良好な居住環境の確保・・・・・・・・	18
○	治水対策の推進・・・・・・・・	22
○	子育て環境の充実・・・・・・・・	27
○	保育サービス等の充実・・・・・・・・	33
○	学校教育の充実・・・・・・・・	38
○	児童・生徒の健康及び安全等の確保・・・・・・・・	44
○	快適な公園・緑地空間の創出・・・・・・・・	49
○	安全に利用できる道路環境の充実・・・・・・・・	53
○	魅力ある都市機能の充実・・・・・・・・	60
○	商工業の振興及び観光施策の充実・・・・・・・・	65

「第2期鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

令和5年度事業に係る効果・検証について

1 はじめに ～国と市の地方創生について～

国は、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することを目指すため、平成26年度に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口の将来の方向などを提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、本ビジョンの内容を踏まえた5か年の政策目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところです。

これを踏まえて、本市は、平成27年度に、市における人口の現状や将来人口の推計、将来展望を踏まえ、目指すべき将来の方向を定めた「鎌ケ谷市人口ビジョン」や、本市の地方創生を着実に進めていくための具体的な施策を定めた「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、各施策の推進に取り組んできました。

地方創生に関しては、国及び地方における総合戦略に基づき、本格的な事業展開を進め、令和元年度に5年間の事業期間が終了したことから、国では、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和元年12月に閣議決定し、引き続き地方公共団体と一体となって、地方創生の深化に取り組んでいます。

本市は、国の第2期総合戦略の策定を踏まえ、令和元年度に計画期間が終了する「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を1年間延長した「改訂版」を策定したところですが、令和3年度からは、「鎌ケ谷市総合基本計画前期基本計画」に、「第2期鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含する計画として策定し、人口減少対策及び地方創生を進めるものとしています。

2 総合戦略の推進について

本市の「第2期鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「鎌ケ谷市総合基本計画前期基本計画」における5つの基本目標を踏まえ、重点的かつ優先的に、また横断的に取り組むものとして定めた3つの重点プロジェクトを中心に推進しています。

この重点プロジェクトは、今後解決すべき課題、市民意識調査結果、社会情勢の変化等を踏まえて決定しています。

なお、本市は、企業版ふるさと納税に係る寄付を充当できる事業として、令和3年3月に策定した地域再生計画において、総合戦略の具体的な事業である重点プロジェクトを掲げており、毎年度1回、鎌ケ谷市地方創生総合戦略推進会議による効果検証を行い、その結果に基づき、必要な改善を事業に反映することとしています。

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる 防災、減災のまちづくり



- 重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化
- 重点施策② 消防・救急・救助体制の充実
- 重点施策③ 良好な居住環境の確保
- 重点施策④ 治水対策の推進

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんな で応援するまちづくり



- 重点施策① 子育て環境の充実
- 重点施策② 保育サービス等の充実
- 重点施策③ 学校教育の充実
- 重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

プロジェクト 3

人が集い、住みたい魅力 のあふれるまちづくり

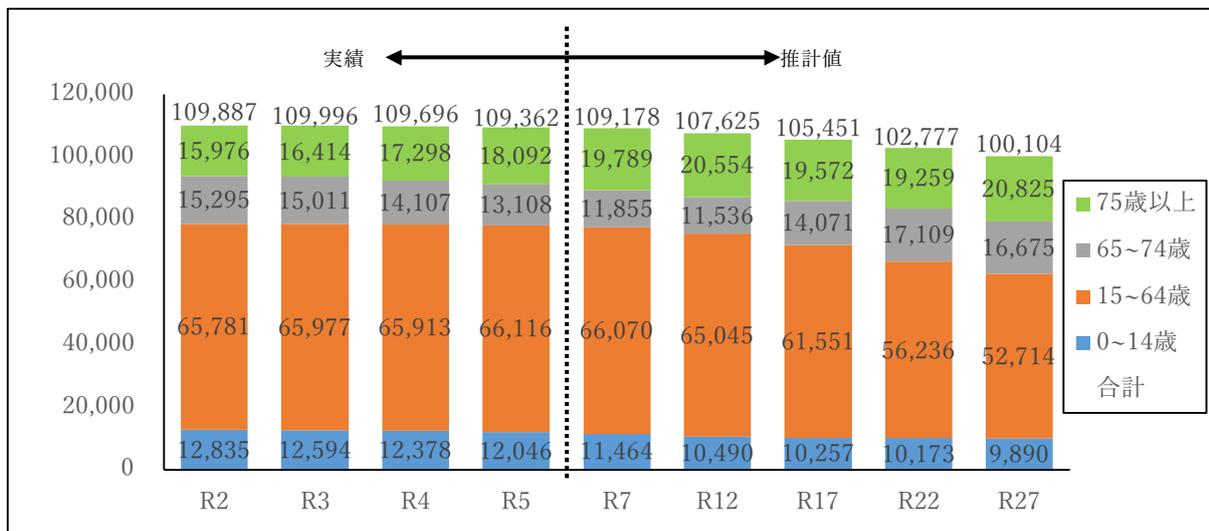


- 重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出
- 重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実
- 重点施策③ 魅力ある都市機能の充実
- 重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

3 本市の人口推計について

本市の人口は近年ほぼ横ばいで推移し、約11万人となっています。

一方、市が独自に実施した本市の将来人口推計によると、将来的には減少傾向となり、令和27年時点では100,104人になると見込まれます。

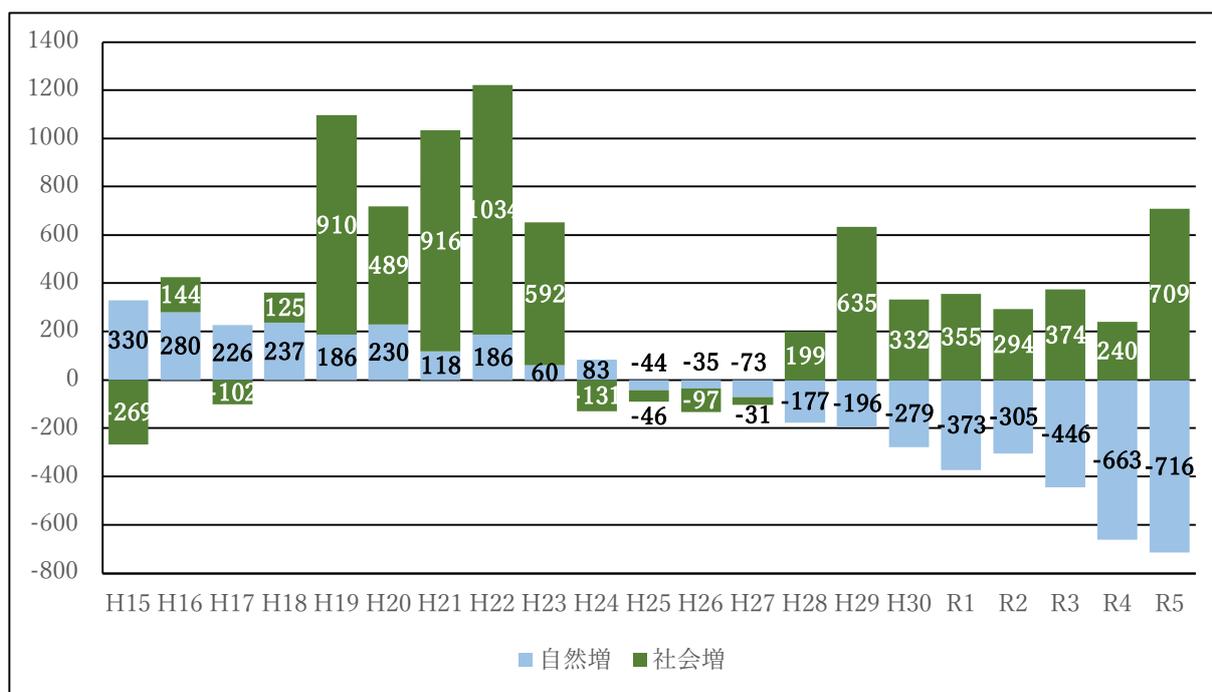


出典：統計かまがや 鎌ヶ谷市総合基本計画

4 要因別人口増減数の推移

社会増減（転入者数－転出者数）については、平成24年から平成27年までは転出超過が続いていましたが、平成28年以降は転入超過に転じています。

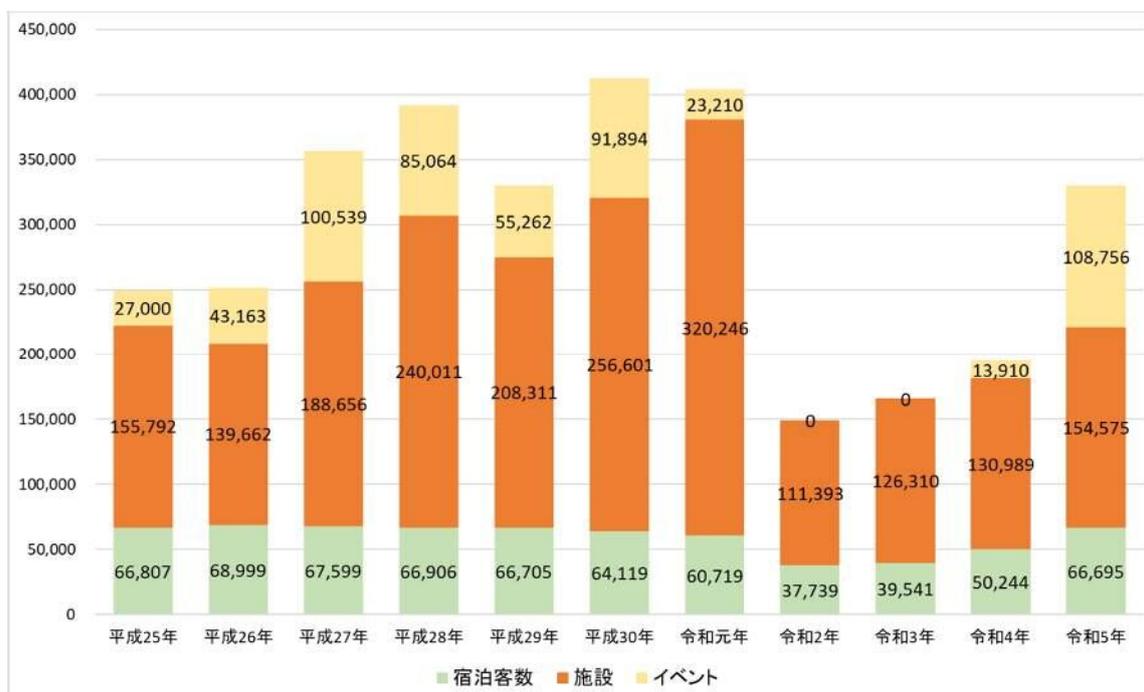
一方で、自然増減（出生－死亡）については、平成24年までは出生数が死亡数を上回っていましたが、平成25年以降は死亡数が出生数を上回っています。



出典：統計かまがや

5 観光入込客数の推移

観光入込客数は令和元年度まで増加傾向であったものの、新型コロナウイルスの影響を受け大きく減少しましたが、令和5年度は令和元年度以前までとはいかないものの大幅な回復傾向が見られます。



6 施策の効果・検証について

「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実施するため、重点プロジェクトで定める施策ごとに、実績等を確認することで効果の検証を行います。

効果・検証にあたっては、その妥当性や客観性を担保するため、鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議において検証し、いただいたご意見を今後の施策展開に反映していきます。

7 令和5年度の取組結果等に係る評価について

上記「6」を踏まえ、市では、令和5年度の重要行政評価指標（KPI）（施策の状態指標及び施策の柱の成果指標）や主な事務事業の実績等の評価を行いました。

鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議では、これらの事業実績について、効果・検証を行ってまいります。

8 状態指標、成果指標の進捗状況

【状態指標及び成果指標とは】

状態 指標	施策のねらいにどの程度近づいているかを示す指標 ※社会経済動向で指標の実績値が変化するため「目指す方向性」を示す
成果 指標	施策のねらいを達成するため、施策の柱に定める指標 ※行政活動がもたらす成果

(1) 状態指標に係る進捗状況

達成状況	評価基準	状態 指標数	構成 割合 (%)
① 順調に推移している 又は基準値と同じ	直近の実績値が基準値(※1)を上回っている もの又は基準値と同じもの	16	66.7%
② 基準値より悪化して いる	直近の実績値が基準値を下回っているもの	※8	33.3%
合 計		24	100%

※1 鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画策定時の現状値のこと

※2 8指標のうち2指標が新型コロナウイルス感染症による影響に伴い悪化したもの

(2) 成果指標に係る進捗状況

達成状況	評価基準	成果 指標数	構成 割合 (%)
① 達成	直近の実績値が令和8年度目標値を既に達 成しているもの	25	36.8%
② 順調に推移している 又は基準値と同じ	直近の実績値が基準値を上回っている又は 基準値と同じであり、令和8年度までの目標 達成が見込まれるもの	28	41.2%
③ 基準値より悪化して いる	直近の実績値が基準値を下回っているもの	※15	22.0%
合 計		68	100%

※ 15指標のうち4指標が新型コロナウイルス感染症による影響に伴い悪化したもの

9 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標

(1) 状態指標 (2 指標)

状態指標名	単位	目指す方向性	基準値		実績値		
			基準年	数値	3年度	4年度	5年度
① 子育て支援事業の満足度	%	↑	令和2年度	73.1	72.9	65.5	69.7
② 災害出動件数(火災、救急、救助)	件	↓	令和元年度	6,022	5,904	7,047	7,189

(2) 成果指標 (4 指標)

成果指標名	単位	目標値	基準値		実績値		
			基準年	数値	3年度	4年度	5年度
① つどいの広場利用人数	人	34,000	令和元年度	25,859	21,312	23,019	24,045
② 子育てサポーター活動回数	回	800	令和元年度	740	214	458	571
③ 無料職業紹介所の紹介による就職人数	人	130	令和元年度	62	49	52	58
④ 観光入込客数	人	410,000	令和元年度	404,175	165,851	195,143	330,026

プロジェクト1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化

施策の柱① 総合的な危機管理体制の強化

施策の柱② 事前防災、減災対策による地域防災体制の充実

施策の柱③ 災害応急活動、復旧対策の強化

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
自主防災組織の組織率	↑	51%	49%	49%
災害協定の締結数	↑	64件	71件	71件



<写真①>
避難場所案内標識等設置事業



<写真②> 防災対策に要する経費
(自主防災組織訓練)

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 総合的な危機管理体制の強化

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
業務継続計画（BCP）の確認及び見直し	2回	2回	2回	2回
防災体制強化研修の参加者数	400人	671人	662人	567人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	危機管理に要する経費		担当課	安全対策課
概要	鎌ヶ谷市危機管理指針に基づき、国民保護計画及び当該計画に基づく個別マニュアルの整備等を進める。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
業務継続計画（BCP）、危機管理マニュアルの見直しを各課に依頼し、見直しを行った。		地域防災計画に定める業務継続計画（BCP）及び緊急事態対応計画に定める危機管理マニュアルの精査・検証を行い、適宜見直しをする。		
令和5年度決算額(千円)	2	令和6年度予算額(千円)	120	

施策の柱② 事前防災、減災対策による地域防災体制の充実

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
自主防災組織への資器材交付完了団体数（累計）	85団体	81団体	82団体	84団体
避難行動要支援者避難支援制度協力自治会数（累計）	50自治会	21自治会	21自治会	22自治会

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	自主防災組織資器材整備に要する経費		担当課	安全対策課
概要	自主防災組織が防災活動を行うために必要な防災資器材を交付する。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
2つの自主防災組織に資器材の交付を行ったことで、資器材交付完了団体数（累計）が増加した。		引き続き防災活動を行うために必要な防災資器材を未交付の自主防災組織に対し交付し、市全体の防災力を拡充していく。また、自主防災組織を継続して支援していただくための交付制度を検討していく。		
令和5年度決算額(千円)	336	令和6年度予算額(千円)	800	

事務事業名	避難場所案内標識設置等事業		担当課	安全対策課
概要	避難場所等を示す標識について、劣化が進んでいることから、更新工事を実施する。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
9箇所の既存標識の撤去を行うとともに、5箇所の新規設置を行った。 ⇒P7 写真①参照		なし		
令和5年度決算額(千円)	4,620	令和6年度予算額(千円)	0	

施策の柱③ 災害応急活動、復旧対策の強化

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
避難所運営委員会の組織数（累計）	21組織	12組織	12組織	12組織
総合防災訓練の参加者数	2,000人	0人	0人	2,071人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	防災対策に要する経費		担当課	安全対策課
概要	鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、ソフト・ハード両面において防災体制の強化のため計画的な整備を進めていく。 ⇒P7 写真②参照			
	令和5年度の実績		令和6年度の実績	
飲料水確保のため井戸付耐震性貯水槽を更新するための費用を算出するため源水の水質検査を行った。			衛生用品などの物品についても更新計画を作成し計画的に更新できる体制を整え、防災備蓄品の効率的な保管場所や管理方法について検討する。また、災害時の飲料確保のための井戸付耐震性貯水槽も更新や修繕を検討するとともに、飲料確保のための新たな手段を検討する。	
令和5年度決算額(千円)	23,032	令和6年度予算額(千円)	22,011	

プロジェクト1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策② 消防・救急・救助体制の充実

施策の柱① 消防体制の充実

施策の柱② 火災予防の推進

施策の柱③ 安心できる救急、救助体制づくり

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
出火率（人口1万人当たり）	↓	1.2件	1.5件	1.3件
災害出動件数（火災、救急、救助）	↓	5,904件	7,047件	7,189件



<写真③>
消防車両更新事業



<写真④>
中央消防署等改修事業

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 消防体制の充実

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
消防車両の更新台数（累計）	16台	2台	5台	8台
予防技術資格者数	60人	42人	44人	43人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	職員研修に要する経費	担当課	消防総務課
概要	消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得させるため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
消防職員18人を研修派遣し、知識と技術の向上を図った。		消防力維持のため、職員19人を消防大学校等の各種研修所に派遣する。	
令和5年度決算額(千円)	3,229	令和6年度予算額(千円)	3,829

事務事業名	消防車両更新事業	担当課	消防総務課
概要	消防活動を維持するために必要な、消防用自動車及び車両積載品を更新整備する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
指揮車1台及び救急自動車1台を更新し、消防体制の充実を図った。 ⇒P11 写真③参照		救急自動車1台の更新及び救急件数増加に対応するため、新たに救急自動車1台を追加配備する。	
令和5年度決算額(千円)	50,598	令和6年度予算額(千円)	93,573

事務事業名	消防団車両更新事業	担当課	消防総務課
概要	消防活動を維持するために必要な、非常備用消防自動車及び車両積載品を更新整備する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
消防ポンプ自動車1台を更新し、消防体制の充実を図った。		救急自動車の増車に伴い、消防用自動車更新計画を見直し、非常備用消防自動車の更新を令和6年度から令和7年度に変更する。	
令和5年度決算額(千円)	20,804	令和6年度予算額(千円)	0

事務事業名	中央消防署等改修事業	担当課	消防総務課
概要	中央消防署の施設の機能を拡充し、感染症防止対策の強化を図るため、トイレ改修・仮眠室の個室化などの内装改修工事を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
資機材備蓄倉庫を整備し、消防職員の感染防止対策の強化及び消防、防災力の強化を図った。 ⇒P11 写真④参照		実施設計に基づき内装等改修工事を実施する。	
令和5年度決算額(千円)	112,523	令和6年度予算額(千円)	261,341

事務事業名	鎌ヶ谷消防署改修事業	担当課	消防総務課
概要	鎌ヶ谷消防署の施設の機能を拡充し、感染症防止対策の強化を図るため、仮眠室及び浴室の個室化に必要な新棟を増築し、救急消毒室の拡充や資機材備蓄倉庫を整備するため、既存庁舎の施設改修を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
鎌ヶ谷消防署改修工事に係る実施設計が完了した。		実施設計に基づき新棟増築及び内装改修工事を実施する。	
令和5年度決算額(千円)	33,951	令和6年度予算額(千円)	329,700

事務事業名	消火栓改修事業	担当課	警防課
概要	令和3年度から令和8年度までの鎌ヶ谷市総合基本計画に基づき、計6基の消火栓を毎年1基ずつ改修する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
優先度の高い腐食消火栓1基の改修を行った。		優先度の高い消火栓1基の改修を行う。	
令和5年度決算額(千円)	2,475	令和6年度予算額(千円)	4,000

事務事業名	消防団装備品整備事業	担当課	警防課
概要	消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
消防団員の外とう149着を防寒、伸縮性、視認性に優れたものに更新したことで、活動における身体への負担軽減につながった。		チェーンソー2基、投光器1器、消防用ホース20本の整備を行う。	
令和5年度決算額(千円)	2,442	令和6年度予算額(千円)	1,848

施策の柱② 火災予防の推進

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
住宅用火災警報器の設置率	73.8%	73.1%	73.3%	73.5%
立入検査実施件数	400件	197件	413件	418件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	予防業務に要する経費	担当課	予防課
概要	火災予防を推進するため、消防訓練時の防火指導や住宅用火災警報器の設置普及及び適正な維持管理を啓発するとともに、建築確認申請時における消防設備の設置指導や対象物の立入検査を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
火災予防を推進するため、広報や市ホームページ等を活用し、住宅用火災警報器の設置普及及び適正な維持管理を啓発するとともに、建築確認申請時に適正な消防設備の設置指導を行ったことにより、住宅用火災警報器の設置率が上昇した。		住宅用火災警報器の設置率は年々上昇しているが、設置後10年を経過している機器が多くなっていることから、市ホームページやSNSを活用するとともに、消防行事の開催時に、設置済み機器の点検・交換等の適正な維持管理の啓発を引き続き実施する。	
令和5年度決算額(千円)	3,103	令和6年度予算額(千円)	4,321

施策の柱③ 安心できる救急、救助体制づくり

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
救命講習開催回数	55回	9回	36回	45回
活動訓練実施回数（救急、救助）	930回	840回	731回	939回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	警防業務に要する経費		担当課	警防課
概要	救急車到着までの間、現場に居合わせた人が、適切な応急手当を実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。			
	令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
救命講習の開催案内をホームページや市広報紙等で地域住民に呼びかけ、普通救命講習を43回、上級救命講習を2回、合計45回実施し、439名が参加した。			救命講習（一般公募）の年間計画を見直し、年間12回のうち2回を、小児、乳児を対象とした救命講習に変更する。また、新型コロナウイルス感染症の影響から制限していた人工呼吸等の実技練習を近隣市の状況を鑑み、通常の講習内容に戻していく。	
令和5年度決算額(千円)	20,337	令和6年度予算額(千円)	18,789	

重点施策③ 良好な居住環境の確保

施策の柱① 良好な居住環境の確保

施策の柱② 安全で安心な住宅の整備

施策の柱③ 住みよい公営住宅の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
住宅の耐震化率	↑	—	79.2%	79.7%
市内の空家率	↓	2.3%	2.3%	1.9%



<写真⑤>
空家等対策事業



<写真⑥> 市営住宅長寿命化事業
(栗野市営住宅集会所屋根・外壁改修工事)

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 良好な居住環境の確保

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
木造住宅等の検査済証の交付率	100%	98%	88%	95%
宅地、建物のパトロール件数	170件	113件	126件	178件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	建築指導に要する経費		担当課	建築住宅課
概要	建築基準法、建設リサイクル法、建築物省エネルギー法、低炭素法等に基づく各種申請の審査、検査、指導、相談及び建築物全般に関する相談。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
計画的な宅地、建物のパトロールを実施し、検査済証交付率は前年度比95%、パトロール件数は前年度比141%となった。		令和5年度に引き続き、宅地・建物のパトロール等を計画的に実施し、違反建築物等の防止の促進を図る。		
令和5年度決算額(千円)	9,260	令和6年度予算額(千円)	10,894	

施策の柱② 安全で安心な住宅の整備

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
住宅耐震改修促進事業補助件数	15件	9件	11件	4件
空家等の解消件数（累計）	445件	322件	356件	699件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	住宅耐震改修促進事業		担当課	建築住宅課
概要	旧耐震基準による木造住宅の耐震診断・改修工事費の一部補助や無料耐震相談会、危険コンクリートブロック塀除却補助を行うもの。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
耐震補助申請及び危険コンクリートブロック塀補助申請の件数はともに前年度を下回り、全体としては前年度比36%となった。		相談会の簡易耐震診断で耐震基準を下回った所有者に対し、耐震補助の申請を促す。また、通学路沿いなどのブロック塀の点検を計画的に行い、危険なブロック塀等の所有者に対して補助制度の利用を周知することで、木造住宅の耐震化及び危険コンクリートブロック塀の除却の推進を図る。		
令和5年度決算額(千円)	941	令和6年度予算額(千円)	6,930	

事務事業名	空家等対策事業		担当課	建築住宅課
概要	空家等対策計画に基づきこれまでの空家等対策に加え、空家等の適正な管理の推進とあわせて空家等の有効活用といった視点も含め、総合的、計画的な空家等対策を実施する。 ⇒P18 写真⑤参照			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
令和5年5月に「鎌ヶ谷市空家等実態調査報告書」を作成し、報告書に基づき令和6年2月に「第2期鎌ヶ谷市空家等対策計画」を策定した。		令和6年2月に策定した第2期空家等対策計画に基づき計画を推進する。		
令和5年度決算額(千円)	4,739	令和6年度予算額(千円)	4,339	

施策の柱③ 住みよい公営住宅の充実

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
市内公営住宅の供給戸数	401戸	382戸	411戸	411戸
外壁、屋上防水等改修率（市内公営住宅）	50.0%	10.0%	20.0%	20.0%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	市営住宅の管理運営に要する経費		担当課	建築住宅課
概要	市営住宅の施設等の適切な維持管理及び適切な入居者管理を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
<p>滞納者への取り組みを強化することで過年度分の徴収率は上昇したが現年度分は令和4年度98.38%から令和5年度97.06%と1.32ポイント減となった。口座振替等の利用を積極的に進めることで徴収率の向上を図った。</p>		<p>家賃納入について管理システムを利用した口座振替への誘導を積極的に行うとともに、滞納者については個別にきめ細かな対応をする等徴収率の向上を目指す。</p>		
令和5年度決算額(千円)	20,279	令和6年度予算額(千円)	21,280	

事務事業名	市営住宅長寿命化事業		担当課	建築住宅課
概要	対症療法型の維持管理から予防保全型の維持管理へ転換することによって、対象施設の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を行うことで長寿命化を図る。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
<p>市営住宅の長寿命化を図るため、栗野市営住宅集会所屋根・外壁改修工事を継続事業を計画どおり6月完了を目途に計画どおり進めた。</p> <p>⇒P18 写真⑥参照</p>		<p>令和6年度は栗野市営住宅1号棟屋上防水・外壁改修等工事及び栗野市営住宅2号棟屋上防水・外壁改修工事設計委託を実施する。</p>		
令和5年度決算額(千円)	9,545	令和6年度予算額(千円)	164,648	

重点施策④ 治水対策の推進

施策の柱① 安心して暮らせる治水対策

施策の柱② きれいでうるおいのある水辺環境の保全

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
浸水面積	↓	122.1ha	122.1ha	122.0ha
床上、床下浸水件数	↓	2件	0件	14件



<写真⑦> 準用河川整備事業
(二和川バイパス)



<写真⑧> 地域排水整備事業
(雨水浸透枳)

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 安心して暮らせる治水対策

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
準用河川二和川バイパス整備率	100%	71.9%	83.5%	83.5%
雨水貯留池の容量	48,720m ³	43,520m ³	43,520m ³	44,758m ³

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	河川・水路整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市の雨水流末に位置する河川、水路改修事業について、事業主体市に流域面積に応じた負担金を支出する。			
	令和5年度の実績		令和6年度の実績	
	紙敷川改修事業（松戸市事業主体）の整備工事を実施した。		事業主体市と協議し1時間当たり50mmの降雨に対応した整備を行う。	
	令和5年度決算額(千円)	1,589	令和6年度予算額(千円)	4,139

事務事業名	準用河川整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市内の準用河川の流下能力向上を目的に、1時間当たり50mmの降雨に対応した改修を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
<p>準用河川二和川バイパス整備（第9期）工事を実施した。</p> <p>準用河川二和川拡幅整備の用地を取得した。</p> <p>準用河川二和川バイパス整備に伴う家屋補償を実施した。</p> <p>準用河川二和川・中沢川合流部予備設計委託を実施した。</p> <p>準用河川二和川既設バイパス放流制限解除準備工事を実施した。</p> <p>⇒P22 写真⑦参照</p>		<p>浸水被害改善に向け国交付金の確保に努め、浸水被害の軽減に効果的な整備及び用地取得等を進める。</p>	
令和5年度決算額(千円)	255,156	令和6年度予算額(千円)	86,337

事務事業名	地域排水整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市内の道路冠水を解消するための地域排水施設の能力不足や未整備箇所について、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
<p>東道野辺五丁目地区地域排水整備事業に伴う移設補償を実施した。</p> <p>浸透柵モニター事業を実施した。</p> <p>⇒P22 写真⑧参照</p>		<p>浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の調査を行い、事業化の検討を行う。</p>	
令和5年度決算額(千円)	5,650	令和6年度予算額(千円)	49,901

事務事業名	雨水貯留池整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	大雨時における流出抑制のための貯留池整備を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
串崎新田貯留池の整備工事を行った。 串崎新田貯留池整備用地を取得した。		串崎新田貯留池の整備工事を行う。	
令和5年度決算額(千円)	118,529	令和6年度予算額(千円)	60,400

施策の柱② きれいでうるおいのある水辺環境の保全

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
雨水浸透柵モニター設置数（累計）	281基	206基	220基	239基
河川、水路除草面積	65,500㎡	111,516㎡	116,489㎡	116,222㎡

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	流域環境整備事業		担当課	道路河川管理課
概要	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草、清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
河川管理委託、河川・水路清掃委託、スクリーン清掃委託、河川・水路維持工事を実施した。		鎌ヶ谷市の河川等施設に応じた効率的な点検方法を検討する。		
令和5年度決算額(千円)	42,098	令和6年度予算額(千円)	39,235	

重点施策① 子育て環境の充実

施策の柱① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

施策の柱② きめ細かな支援が必要な子ども、子育て家庭への支援

施策の柱③ 地域全体で子育てを支えるための環境整備

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
合計特殊出生率	↑	1.19	1.14	—
子育て支援事業の満足度	↑	72.9%	65.5%	69.7%



<写真⑨>
つどいの広場の運営に要する経費



<写真⑩>
(仮称) 東部地区児童センター設置事業

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
乳児家庭全戸訪問事業 訪問率	96%	97.6%	93.2%	99.3%
つどいの広場利用人数	34,000人	21,312人	23,019人	24,045人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童総務事務に要する経費	担当課	こども支援課
概要	こども基本法に基づき「鎌ヶ谷市こども計画」を策定する。策定にあたっては、庁内推進会議で議論し、子ども・子育て会議への諮問・答申を踏まえ、庁議、市長決裁を経て、決定していく。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
第2期子ども・子育て支援事業計画に係る施策の実績について、子ども・子育て会議で審議するとともに、こども計画策定に向け、こども・若者施策を推進するための基礎資料として、市民の意見や要望を把握するためのニーズ調査を実施した。		令和5年度に実施したアンケート調査に基づき、第3期子ども・子育て支援事業計画を包含する（仮称）こども計画を策定する。なお、策定にあたっては、庁内推進会議で議論し、子ども・子育て会議への諮問・答申を踏まえ、庁議、市長決裁を経て、決定していく。	
令和5年度決算額(千円)	29,907	令和6年度予算額(千円)	16,099

事務事業名	つどいの広場の運営に要する経費	担当課	こども支援課
概要	つどいの広場を開設しおおむね3歳未満の乳幼児とその保護者が気軽につどい相互交流する場を提供する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
5つの児童センターにおいて、つどいの広場を実施するとともに、アドバイザー研修を実施した（書面1回、対面2回）。また、利用者対象にアンケート調査を実施し、令和6年度の事業計画に反映した。 ⇒P27 写真⑨参照		令和6年3月に開設した東部児童センターで新たにつどいの広場を実施していく。	
令和5年度決算額(千円)	10,244	令和6年度予算額(千円)	19,115

事務事業名	母子保健に要する経費	担当課	健康増進課
概要	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を提供するため、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
妊婦面接、乳幼児健康相談・健康診査、新生児訪問、こにちはあかちゃん訪問事業を実施し、切れ目のない子育て支援を実施した。また、「かまっこすくすくアプリ」の運用を開始し、現代の育児に添った育児支援を実施した。		1か月児健康診査の一部費用助成（4,000円）、低所得妊婦初回産科受診料費用助成（妊娠1回につき10,000円）、産後ケア事業の拡充と利用者負担の減免を開始し、妊婦及び産婦の経済的負担の軽減と疾病の早期発見・早期治療、育児不安の軽減につなげる。	
令和5年度決算額(千円)	85,291	令和6年度予算額(千円)	101,574

事務事業名	結婚新生活支援事業	担当課	企画財政課
概要	新婚世帯の新生活に係る住宅費及び引越費用の一部に対し、予算の範囲内において鎌ヶ谷市結婚新生活支援事業補助金を交付するもの。		
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
39件の申請に対し補助金を交付するとともに、4月から5月まで新京成電鉄の広告媒体を活用し、事業の周知を図った。なお、本事業の申請者を対象としたアンケートでは、本事業の認知度（婚姻届出の前に本事業を認知していた割合）は62%、地域に応援されていると感じた世帯の割合は87%だった。		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌ヶ谷市への転入者を対象とした事業であるため、市の事業や子育て支援などを紹介し、申請者がよりプラスな気持ちで鎌ヶ谷市に転入できるよう、懇切丁寧な対応を心がける。 ・申請者とのやり取りが多いため、可能な範囲で電話番号以外の連絡方法（email）を取得する。 ・当該事業の周知啓発について、新たな方法（動画作成など）を検討する。 	
令和5年度決算額(千円)	14,908	令和6年度予算額(千円)	12,600

施策の柱② きめ細かな支援が必要な子ども、子育て家庭への支援

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
児童虐待防止(子育て関係) 講座等の開催回数	38回	15回	28回	101回
ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金受給者数	12人	7人	11人	13人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	家庭児童相談に要する経費		担当課	こども支援課
概要	子育てや家族に関する相談、児童虐待の予防、早期発見、支援対象児童への支援を行う。また、鎌ヶ谷市虐待防止対策等地域協議会の運営を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
相談しやすい環境とするため、家庭児童相談員の設置時間を拡充した。また職員の専門性を高めるため、週に一度要保護児童対策支援員から助言・指導を受けた。		多種多様な相談に対し、迅速な対応が求められていることから、職員の専門性や対応技術の向上など人材育成に取り組むとともに、効率的な事業運営を行うため、会議の進行管理や家庭児童相談システムの活用方法を見直す。		
令和5年度決算額(千円)	15,372	令和6年度予算額(千円)	13,821	

事務事業名	母子等福祉に要する経費		担当課	こども支援課
概要	ひとり親家庭等の父母等及び児童に対し、医療費及び調剤費の一部を助成するもの。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
経済的な支援及び自立支援を行うことにより、ひとり親家庭等の福祉の増進につながった。		引き続き、適正な助成事務を遂行するため、制度案内チラシの見直しを行い、市民へ制度の周知を図る。		
令和5年度決算額(千円)	77,323	令和6年度予算額(千円)	64,720	

施策の柱③ 地域全体で子育てを支えるための環境整備

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
児童センター利用人数	126,000人	58,788人	66,966人	100,268人
子育てサポーター活動回数	800回	214回	458回	571回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童遊園等の管理に要する経費	担当課	こども支援課
概要	市内16箇所の児童遊園について、適切な管理を行い児童に健全な遊びを与える。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
<p>専門業者による一斉点検により、緊急に改修が必要となった遊具については、改修を実施した。 また、職員による定期的な点検も引き続き実施した。</p>		<p>こども達の身近で魅力的な遊び場となるよう、令和4年度に実施した専門業者による遊具の一斉点検の結果に基づき、改修が必要と判定された遊具について、計画的に改修を実施する。</p>	
令和5年度決算額(千円)	5,954	令和6年度予算額(千円)	5,996

事務事業名	児童センターの管理運営に要する経費	担当課	こども支援課
概要	児童への健全な遊びを通して、その体力を増進し、情操を豊かにする。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
<p>ボランティア講師や保育士などを招いたこども体験教室や同じ年齢のお子様を持つ親子が集まり参加できる「子育てサロン」を定期的実施した。また、「機中八策」講座を各センターで実施した。</p>		<p>家庭・学校・地域と連携をとりながら、子どもの育成に適した遊びや教室を実施するとともに、乳幼児をもつ保護者を対象としたサロンや講座を開催する。</p>	
令和5年度決算額(千円)	50,962	令和6年度予算額(千円)	57,422

事務事業名	(仮称) 東部地区児童センター設置事業	担当課	こども支援課
概要	児童センターが未整備となっている東部地区に、東部地区児童センターを整備する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
<p>令和6年1月に工事を完了するとともに、児童センターの運営に必要な備品や消耗品を購入し、3月20日に開館した。</p> <p>⇒P27 写真⑩参照</p>		なし	
令和5年度決算額(千円)	556,942	令和6年度予算額(千円)	0

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策② 保育サービス等の充実

施策の柱① 幼稚園、保育園の充実

施策の柱② 放課後児童クラブの充実

施策の柱③ 多様な家庭に対応した保育サービスの充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
待機児童数（保育園、放課後児童クラブ）	→	0人	0人	0人
合計特殊出生率	↑	1.19	1.14	—



<写真⑪>
民間保育所等の補助に要する経費



<写真⑫>
放課後児童クラブの管理運営に要する経費

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 幼稚園、保育園の充実

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
子育て支援員研修の受講率	50%	24.7%	26.4%	28.9%
保育所定員数	1,635人	1,545人	1,635人	1,635人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	民間保育所等の補助に要する経費		担当課	幼児保育課
概要	民間保育所等の安定的運営のため補助を行う。また、保育士の確保、離職防止のため必要な処遇改善事業を行う。⇒P33 写真⑪参照			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
10年連続で待機児童ゼロを達成した。		継続的に補助金を交付するとともに、保育事業者が必要とする物価高騰などの補助に対し、国や県の状況も踏まえ、補正予算等により対応を行う。		
令和5年度決算額(千円)	363,066	令和6年度予算額(千円)	422,891	

事務事業名	私立幼稚園等に要する経費		担当課	幼児保育課
概要	幼児教育・保育の無償化に伴い、施設等利用給付認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
私立幼稚園8施設に、研修費用等に対する補助金や施設等利用費を支給した。また、開設時間を延長して預かり保育を実施している6施設に補助金を交付することで、待機児童の解消を図った。令和5年度も、新型コロナウイルス感染対策用品、光熱水費及び食材費等の物価高騰対策などを対象とした補助を実施した。		施設等利用費の支給のほか、継続的に補助金を交付するとともに、私立幼稚園が必要とする物価高騰などの補助に対し、国や県の状況も踏まえ、補正予算等により対応を行う。		
令和5年度決算額(千円)	450,986	令和6年度予算額(千円)	478,765	

事務事業名	民間保育所等整備助成事業		担当課	幼児保育課
概要	待機児童対策及び保育サービスの充実のため、民間事業者による保育施設整備の助成を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
令和7年度開園を目指し、定員90人規模の保育施設について運営事業者を選定した。		令和5年度に選定した民間事業者に対して、認定こども園整備の助成を行う。 また、今後の保育量の見込みを踏まえ、保育の必要量が確保できるよう、新たな保育施設等の整備について検討を行う。		
令和5年度決算額(千円)	14	令和6年度予算額(千円)	157,500	

事務事業名	保育園改修事業		担当課	幼児保育課
概要	公立保育園の保育環境を良好に維持するため、受変電設備や照明のLED化など、必要な改修を行うもの。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
道野辺保育園及び栗野保育園受変電設備改修工事の設計を完了した。 また、鎌ヶ谷保育園A棟空調設備改修工事の設計を完了した。		実施計画に基づき、道野辺保育園・栗野保育園受変電設備改修工事、南初富保育園受変電設備改修設計、栗野保育園LED照明改修設計を行う。 また、繰越明許した鎌ヶ谷保育園A棟空調設備改修工事を行う。		
令和5年度決算額(千円)	9,872	令和6年度予算額(千円)	134,300	

施策の柱② 放課後児童クラブの充実

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
放課後児童クラブが楽しいと思う児童の割合	80%	52.4%	67.9%	66.7%
放課後児童クラブの定員数	827人	827人	827人	827人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	放課後児童クラブの管理運営に要する経費		担当課	こども支援課
概要	小学校で放課後児童クラブを管理運営し、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童に、授業の終了後に適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図る。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
毎月、放課後児童クラブの運営状況を確認し、必要に応じて改善を指示するとともに、令和5年度は3回、主任支援員と運営方法等についての会議を開催した。 ⇒P33 写真⑩参照		放課後児童クラブの運営事業者のうち、1社の契約期間が令和6年度で満了するため、プロポーザル方式により、事業者を選定する。また、年に数回、全クラブの主任支援員を集め、運営方法について協議を行う。		
令和5年度決算額(千円)	265,183	令和6年度予算額(千円)	275,934	

事務事業名	放課後児童クラブ整備・改修事業		担当課	こども支援課
概要	「放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき、放課後児童クラブの施設整備・改修を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
令和4年度に実施した東部小学校放課後児童クラブに係る改修工事の設計に基づき、工事を実施した。		西部小学校第1放課後児童クラブの改修工事を実施するための設計を行う。 また、利用人数が増加している道野辺小学校放課後児童クラブに対応していく。		
令和5年度決算額(千円)	16,187	令和6年度予算額(千円)	3,000	

施策の柱③ 多様な家庭に対応した保育サービスの充実

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
一時預かり事業の受入可能人数	15,840人	10,560人	10,560人	10,560人
ファミリー・サポート・センター提供会員数	195人	164人	164人	157人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	ファミリー・サポート・センターの運営に要する経費		担当課	こども支援課
概要	様々な事情で一時的に子どもの世話ができない場合等、地域の住民同士で相互援助の形式で支え合いを行い、子育て支援を実施する。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
提供会員募集のポスターの作成を実施した。また利用可能年齢の引き下げを実施し、より利用のしやすい事業とするため、要綱改正を実施した。		現在、直営で運営している事業の業務の安定化、サービスの向上を図るため、委託化を検討していく。また、依頼件数の増加に対応するため提供会員募集のため、ポスター等を活用した周知を継続的に行う。		
令和5年度決算額(千円)	3,415	令和6年度予算額(千円)	4,630	

事務事業名	児童総務事務に要する経費		担当課	幼児保育課
概要	保育認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
認可外保育施設・一時預かり事業を利用している保護者に対し、幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、必要な給付を行った。		幼児教育・保育の無償化に関する複雑な制度について、利用者に対して分かりやすい説明に努め、適正な給付事務を継続する。		
令和5年度決算額(千円)	31,104	令和6年度予算額(千円)	11,627	

重点施策③ 学校教育の充実

施策の柱① 安全で安心な教育環境の確保

施策の柱② 生きる力をはぐくむ特色ある学校づくり

施策の柱③ 専門性と社会性を備えた教職員の育成

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
教職員、保護者等からの学校施設満足度の割合	↑	71.3%	72.3%	72.8%
授業の中で課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童生徒の割合	↑	80.5%	85.1%	87.7%



<写真⑬>
小中学校ICT環境整備事業



<写真⑭>義務教育施設維持補修事業
(東部小学校校舎外壁・屋上防水改修工事)

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 安全で安心な教育環境の確保

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
外壁、屋上防水等改修率	35.5%	30.6%	30.6%	33.9%
小中学校トイレの整備進捗率	94.6%	87.5%	100%	100%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	小学校の管理運営に要する経費		担当課	教育総務課
概要	良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
小学校9校において、老朽化が進む学校施設や備品等について、修繕や購入等の対応を行った。		学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。		
令和5年度決算額(千円)	335,554	令和6年度予算額(千円)	355,408	

事務事業名	義務教育施設維持補修事業		担当課	教育総務課
概要	老朽化した施設、設備等について、計画的に施設改修を行い、学習環境の向上を図る。 ⇒P38 写真⑭参照			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
東部小学校校舎外壁・屋上防水工事、鎌ヶ谷小・東部小・南部小LED照明改修工事、鎌ヶ谷中LED照明改修工事など予定した事業を全て計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。		鎌ヶ谷小・南部小・道野辺小の体育館空調設備設置、鎌ヶ谷小・南部小の受変電設備改修、北部小・道野辺小のLED照明改修等を行う。 鎌ヶ谷中の受変電設備改修、第四中の校舎屋上防水改修、第二中・第三中のLED照明改修等を行う。		
令和5年度決算額(千円)	712,107	令和6年度予算額(千円)	1,087,900	

事務事業名	義務教育施設楽器更新事業	担当課	教育総務課
概要	小中学校において、購入から年数が経過し、老朽化が進んでいる楽器の更新を行う。また、リース方式により更新したグランドピアノの賃借料の支払いを行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
小学校9校において、楽器の更新を行うとともに、全小中学校のグランドピアノについて、賃借料の支払いを行った。		令和元年度にリース方式により更新した全小中学校のグランドピアノ及び令和4年度に更新した鎌ヶ谷小学校音楽室のグランドピアノ（1台）について、賃借料の支払いを行う。また、中学校5校の楽器更新を行う。	
令和5年度決算額(千円)	10,965	令和6年度予算額(千円)	11,252

事務事業名	中学校の管理運営に要する経費	担当課	教育総務課
概要	良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
中学校5校において、老朽化が進む学校施設や備品等について、修繕や購入等の対応を行った。		学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。	
令和5年度決算額(千円)	170,307	令和6年度予算額(千円)	181,285

施策の柱② 生きる力をはぐくむ特色ある学校づくり

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
ICT教育機器の1日の授業における使用割合	50%	41.7%	79.9%	84.2%
学校図書館図書標準の達成校	14校	14校	14校	14校

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	小学校の図書に要する経費		担当課	教育総務課
概要	計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
図書の購入を計画どおり進め、学習環境の向上を図った。		学校図書館の有効利用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校における図書館図書標準100%を継続していく。		
令和5年度決算額(千円)	9,554	令和6年度予算額(千円)	9,557	

事務事業名	中学校の図書に要する経費		担当課	教育総務課
概要	計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
図書の購入を計画どおり進め、学習環境の向上を図った。		学校図書館の有効利用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校における図書館図書標準100%を継続していく。		
令和5年度決算額(千円)	6,974	令和6年度予算額(千円)	6,975	

事務事業名	教育指導に要する経費	担当課	学校教育課
概要	鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、小学校の理科支援員の配置、日本語指導講師の派遣、デジタル教科書の継続使用、いじめ対策、自主公開助成金や研究指定助成金等を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
<p>学力調査の結果分析で経年変化を追うことができ、また各校が分析して研修会を実施したことで、授業改善に生かすことができた。理科支援員や学校図書館司書の配置により、それぞれ学習が充実した。</p>		<p>市の研究指定で中部小学校が最終年で授業公開、県の指定で西部小学校と第三中学校が授業公開を行う。担当指導主事が研究内容について確認していく。県の指定で南部小学校と第四中学校が「心のバリアフリー」に取り組む。日本語指導の講師について個人登録システムを整える。</p>	
令和5年度決算額(千円)	81,909	令和6年度予算額(千円)	73,420

事務事業名	小中学校 I C T 環境整備事業	担当課	学校教育課
概要	GIGAスクール構想に対応した高速大容量通信ネットワークの環境維持および、児童生徒 1 人 1 台の学習用コンピュータの維持管理を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
<p>年間を通して I C T 活用推進委員会で各学校の事例を紹介し、活用方法について共有できた。また、教育委員会学校教育課の指導訪問の際に活用方法について話し合い、活用の幅を広げることができた。教員アンケートから活用の頻度も上がっていることが分かる。</p> <p>⇒P38 写真⑬参照</p>		<p>令和7年度の児童生徒用端末の入れ替えに向けてアセスメントをする必要がある。その結果、回線状況を改善していく必要があり、検討する。児童生徒用端末に入れ替えに向け、県の調達会議に参加する。アプリ等についての情報収集を行う。</p>	
令和5年度決算額(千円)	95,204	令和6年度予算額(千円)	108,847

施策の柱③ 専門性と社会性を備えた教職員の育成

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
自主公開取組み校	12校	4校	5校	5校
児童生徒と向き合う時間を確保できている教職員の割合	95%	71.4%	81.6%	86.2%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	教職員の研修に要する経費		担当課	学校教育課
概要	市内小中学校の教職員の資質・能力向上と専門性の確立を図るため、研修・研究の支援を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度 of 取組内容		
<p>教員の指導力向上のため、授業を自主公開し、研鑽に取り組むよう学校に指導しているが、取組み校は昨年度と同様5校であった。学校行事が通常に戻りつつある中で、他校への授業公開が少なかった。</p>		<p>教員の指導力向上のために、講師を依頼して研修を実施する。教員の自主的な研修への依頼を受けて指導主事を派遣したり、東葛飾教育事務所指導主事の派遣調整を行う。</p>		
令和5年度決算額(千円)	410	令和6年度予算額(千円)	547	

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

施策の柱① 保健、安全教育の充実

施策の柱② 児童生徒の安全確保

施策の柱③ 学校給食の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
標準体重の児童生徒の割合	↑	89.4%	87.1%	89.0%
児童生徒の交通事故の発生件数	↓	9件	16件	17件
学校給食の満足度	↑	84%	91%	93%



<写真⑮>
児童生徒安全パトロール事業



<写真⑯>
学校給食運営に要する経費

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 保健、安全教育の充実

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
児童生徒の定期健康診断受診率	95.5%	94.7%	94.8%	94.5%
児童生徒の定期健康診断受診勧告後の医療機関受診率	60%	53.5%	53.4%	54.1%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	学校保健事務に要する経費		担当課	学校教育課
概要	児童生徒等の心身の発達と健康を保持するため、環境衛生検査、健康診断、感染症予防等を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
就学時健康診断及び定期健康診断を実施し、児童・生徒等の疾病の早期発見と健康管理を行い、結果に基づく受診勧奨を行った。環境衛生検査を行い、改善が必要な項目について把握し、必要な対策を講じた。		児童生徒等の定期健康診断について、現行の精度を保ち、且つ感染症対策に配慮して実施する。		
令和5年度決算額(千円)	34,601	令和6年度予算額(千円)	37,908	

事務事業名	学校安全事務に要する経費		担当課	学校教育課
概要	学校管理下における児童生徒等のケガ等に対する日本スポーツ振興センターの災害共済や、全国市長会との契約による補償等に要する経費を負担する。また、小学校新1年生に交通安全用として黄色い帽子を配付する。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
児童・生徒が学校管理下で発生した災害により負傷や疾病を受けた場合に、その治療（保険治療）に要した医療費や見舞金を支給し、保護者の費用負担軽減を図った。		各学校の養護教諭と連携し、事務手続きを正確に行う。		
令和5年度決算額(千円)	10,867	令和6年度予算額(千円)	11,260	

施策の柱② 児童生徒の安全確保

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
子ども自転車安全運転講習会、スケアード・ストレイト自転車交通安全教室の実施回数	11回	13回	17回	14回
こども110番の家の登録件数（累計）	1,464件	1,313件	1,281件	1,251件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	通学路安全対策事業		担当課	学校教育課
概要	第4次通学路安全対策推進行動計画の進行管理、児童生徒の安全指導等の対策を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
要望や緊急一斉点検で必要とされた環境整備を実施した。スケアード・ストレイト自転車交通安全教室は市内全中学校で実施した。		通学路合同点検を実施する。自転車講習会などの安全指導を継続して実施する。		
令和5年度決算額(千円)	1,944	令和6年度予算額(千円)	3,872	

事務事業名	児童生徒安全パトロール事業		担当課	学校教育課
概要	市内の指定通学路や公園などの場面を想定した、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
1班を2人体制として、車両と徒歩による班をそれぞれ2班と4班編成し、市内全域についてパトロールを実施した。学校の長期休業や下校が早まった時には児童・生徒が集まりそうな公園も重点的に巡回した。 ⇒P44 写真⑮参照		学校、地域、青少年センター、警察と引き続き情報共有し、通学路を中心にパトロールを実施していく。		
令和5年度決算額(千円)	14,749	令和6年度予算額(千円)	15,712	

事務事業名	非行防止対策の推進に要する経費	担当課	生涯学習推進課
概要	子どもたちの非行防止を図り、また安全確保を図る観点から補導活動等を実施し、青少年の非行防止及び健全育成を推進する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
市内の小中学校の依頼に対して、不審者情報等を配信する「子ども安全メール」の登録者数が地域の見守り活動の重要性の啓発を行ったことで前年度より163件増加した。		引き続き子どもたちの安全安心のため、関係機関との連携を深め、街頭パトロールの強化とともに「子ども110番の家」は、共働き世帯の増加と高齢化により減少傾向にあることから、事業所や商業施設へ依頼し推進を図る。また子どもたちやその保護者からの相談についても重点的に取り組む。	
令和5年度決算額(千円)	12,083	令和6年度予算額(千円)	14,298

事務事業名	通学路整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	児童や生徒が安全に通学できるよう歩道を整備し通学路の安全性向上を図る。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
市道1号線通学路整備に必要な用地を取得した。 市道1号線通学路整備で取得した用地の保全工事を実施した。 市道49号線通学路整備に必要な用地を取得した。 市道49号線通学路整備で取得した用地の保全工事を実施した。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。	
令和5年度決算額(千円)	89,493	令和6年度予算額(千円)	15,907

施策の柱③ 学校給食の充実

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
鎌ヶ谷産野菜、果実使用献立数	22回	20回	20回	24回
食育指導の実施回数	34回	12回	32回	57回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	学校給食運営に要する経費		担当課	学校教育課
概要	安全で魅力ある学校給食を提供し、子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに食への関心を高める。			
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容		
<p>児童生徒7,739人(令和5年5月1日現在)に対し、年間183日学校給食を実施するとともに、給食だよりを11回配付し、給食センターの見学を807人受け入れた。</p> <p>⇒P44 写真⑩参照</p>		<p>地産地消食材の積極的活用および学校との食育連携、食物アレルギー除去食の安全な提供を実施する。</p>		
令和5年度決算額(千円)	940,179	令和6年度予算額(千円)	943,551	

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出

施策の柱① 公園、緑地の適正な維持管理の推進

施策の柱② みどりの保全と創出

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
市民1人当たりの都市公園面積	↑	3.3㎡/人	3.3㎡/人	3.4㎡/人
緑地の面積	→	601ha	597ha	592ha



<写真⑰> 地区公園整備事業
(市制記念公園水遊び場)



<写真⑱> 公園施設長寿命化事業
(貝柄山公園滑り台)

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 公園、緑地の適正な維持管理の推進

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
都市公園の遊具等の改修、更新数（累計）	142基	92基	118基	136基
公園サポーター制度による協働管理の公園数	50か所	40か所	38か所	34か所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	公園維持管理に要する経費		担当課	公園緑地課
概要	都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事を実施する。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
公園の清掃、樹木の剪定や伐採、施設の更新や修繕を実施し、公園緑地の適切な維持管理の推進を図ることができたが、施設の老朽化等による修繕や、枯木等により樹木を伐採する件数が増えた。		公園施設の適正な維持管理に努める。また、公園サポーターと密に調整を行い、公園の状態に応じた管理を行う。		
令和5年度決算額(千円)	264,799	令和6年度予算額(千円)	226,901	

事務事業名	公園施設長寿命化事業		担当課	公園緑地課
概要	公園施設の長寿命化計画に基づき、計画的な更新、改修を行うことにより、公園施設の安全を確保する。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
17施設の更新工事の実施により施設の長寿命化、利用者の安全の確保及び財源の平準化ができ大幅に改修、更新数を伸ばすことができた。 ⇒P49 写真⑱参照		新たに策定した、長寿命化計画に基づき、維持管理を実施する。		
令和5年度決算額(千円)	23,912	令和6年度予算額(千円)	16,010	

施策の柱② みどりの保全と創出

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
保全林指定数	10か所	10か所	10か所	10か所
公園等設置数	256か所	245か所	244か所	247か所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	緑化推進に要する経費		担当課	公園緑地課
概要	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、保全林等の指定、用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
令和5年度分の緑道整備事業の用地購入費を支払った（令和7年度に支払い完了）。公園用地の賃貸借を行った。保全林、保存樹木及びふれあいの森にみどりの保全助成金の交付を行った。		公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。		
令和5年度決算額(千円)	70,320	令和6年度予算額(千円)	21,876	

事務事業名	地区公園整備事業		担当課	公園緑地課
概要	市制記念公園水遊び場整備工事を実施する。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
令和5年度において、令和6年5月3日の水遊び場のプレオープンに向け、施工業者と調整を行い、工事を進めることができた。 ⇒P49 写真⑰参照		繰越となった工事を速やかに完了させ、5月3日のプレオープンを迎え、夏期に水遊び場を開放する。		
令和5年度決算額(千円)	19,220	令和6年度予算額(千円)	0	

事務事業名	街区公園整備事業	担当課	公園緑地課
概要	街区公園整備のための用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。		
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
丸山三丁目ふれあいの森公園の実実施設計が完了した。		丸山三丁目ふれあいの森公園の整備工事をし、供用開始する。鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森公園の整備附帯工事を実施する。嚙子水公園の再整備に伴う基本計画を策定する。	
令和5年度決算額(千円)	33,985	令和6年度予算額(千円)	59,555

事務事業名	(仮称) 緑道整備事業	担当課	公園緑地課
概要	東京10号線延伸新線跡地の「公園・緑地・広場ゾーン」について、緑にふれあい、市民のコミュニティ、憩い、健康増進の機能を有する施設の整備を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
基本構想委託は令和6年3月に完了した。(基本構想策定に当たっては、令和6年4月に庁議に諮り、5月に完成させた。)		基本構想の策定を完了させる。基本構想に基づき、基本設計及び実施設計を行う。	
令和5年度決算額(千円)	3,355	令和6年度予算額(千円)	13,395

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

施策の柱① 計画的な道路網の整備

施策の柱② 既存の道路空間の安全性、快適性の確保

施策の柱③ 道路の適正な維持管理及び交通安全対策の推進

(1) 施策の状態指標 (目指す方向性) の実績

施策の状態指標 (目指す方向性) の名称	目指す方向	R3	R4	R5
市道延長	↑	245km	246km	247km
交通事故発生件数	↓	254件	215件	242件



<写真⑱> 交通安全施設更新事業
(市道24号線)



<写真⑳> 交通安全施設更新事業
(市道37号線)

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 計画的な道路網の整備

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
都市計画道路整備率	38.7%	30.3%	30.3%	30.3%
都市計画道路事業認可区間における用地取得率	100%	51.7%	53.4%	54.1%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	主要市道整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	主要市道の歩道整備や舗装改良などを行い、利用者の安全性や利便性を高め、生活環境の向上を図る。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
市道20号線道路改良に必要な用地を取得した。 市道20号線道路改良工事を実施した。 軽井沢周回道路整備工事を実施した。 舗装修繕調査及び舗装改良工事を実施した。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、 用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。		
令和5年度決算額(千円)	97,407	令和6年度予算額(千円)	90,784	

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	交通の円滑化と周辺地域の利便性向上を図るため、県道船橋我孫子線のバイパス道として県が事業主体となり整備を進めている。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
バイパス整備に伴う必要な用地について、物件補償などの調査を実施し、その経費に係る地元負担金を千葉県へ支出した。		引き続き、千葉県と連携し情報共有を図りながら効率的な用地取得に取り組む。		
令和5年度決算額(千円)	3,887	令和6年度予算額(千円)	9,263	

事務事業名	新京成線連続立体交差事業	担当課	道路河川整備課
概要	千葉県が事業主体となり、本市の中心市街地を東西に走る新京成線を高架化し、踏切を除却することで地域分断や交通渋滞の解消など安全性及び利便性を図る。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
<p>関連側道等の整備に係る地元負担金を千葉県へ支出した。</p> <p>関連側道の防犯灯設置工事等を実施した。</p>		<p>事業完了に向けて関連側道などの周辺整備や清算業務等を行う。</p>	
令和5年度決算額(千円)	178,694	令和6年度予算額(千円)	170,996

事務事業名	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	新鎌ヶ谷地区を東西に連絡する都市計画道路を整備することにより周辺地区の交通渋滞などを解消させるとともに歩行者等の安全性を図る。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
<p>新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備に必要な用地を取得した。</p> <p>新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備で取得した用地の保全工事を実施した。</p>		<p>交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。</p>	
令和5年度決算額(千円)	86,009	令和6年度予算額(千円)	59,058

施策の柱② 既存の道路空間の安全性、快適性の確保

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
主要市道、一般市道改良延長	870m	717m	787m	787m
交差点改良事業における用地取得率	100%	48%	48%	50.2%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	交差点改良事業		担当課	道路河川整備課
概要	交通量の多い主要な交差点を対象に、歩道設置や右折車線設置等の交差点改良を実施し、利用者の安全性の向上を図る。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
市道22号線交差点改良に必要な用地を取得した。市道22号線交差点改良で取得した用地の保全工事を実施した。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。		
令和5年度決算額(千円)	3,434	令和6年度予算額(千円)	33,203	

事務事業名	一般市道整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	一般市道において、排水施設の整備、舗装改良、狭隘路線の拡幅を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
市道2760号線舗装改良工事を実施した。市道2107号線道路整備に必要な設計を行い、用地を取得した。		交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済箇所は保全工事等により、歩行者の安全性の確保に取り組む。		
令和5年度決算額(千円)	33,048	令和6年度予算額(千円)	138,016	

事務事業名	私道整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
私道舗装整備工事（東中沢1484-103道路管理組合）を実施した。		申請のあった際には早期に私道整備工事を発注することが出来るよう、申請者と調整を行う。	
令和5年度決算額(千円)	1,791	令和6年度予算額(千円)	2,675

施策の柱③ 道路の適正な維持管理及び交通安全対策の推進

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
交通安全教室の開催数	22回	15回	16回	20回
交通安全施設更新件数（累計）	155基	81基	90基	96基

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	交通安全対策に要する経費		担当課	道路河川管理課
概要	交通安全意識向上のため、警察等の関係機関と連携し、交通安全運動を通じての啓発活動や小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室を開催し、交通ルールの指導を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
高齢者、小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室の実施した。また、自転車乗車用ヘルメット購入費用の助成を実施した。		啓発パンフレットの有効な配布と活用、交通事故発生箇所における安全対策の検証。		
令和5年度決算額(千円)	29,079	令和6年度予算額(千円)	28,984	

事務事業名	交通安全施設更新事業		担当課	道路河川管理課
概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設（道路反射鏡等）の更新工事を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
道路反射鏡6基、道路標識1基、ポストコーン2基を更新した。 ⇒P53 写真⑱⑳参照		日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討。		
令和5年度決算額(千円)	2,597	令和6年度予算額(千円)	3,071	

事務事業名	道路維持・補修事業	担当課	道路河川管理課
概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を基に調査、検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。		
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
道路補修・清掃委託、排水管（溝）清掃委託、道路維持工事を実施した。		日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の検討および道路通報システムの導入。	
令和5年度決算額(千円)	218,764	令和6年度予算額(千円)	150,973

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

施策の柱① 緑あふれる快適な魅力あるまちづくり

施策の柱② にぎわいと活力ある市街地の整備

施策の柱③ 公共交通体系の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
社会増加数（市内転入者数と転出者数の差）	↑	374人	355人	709人
市内8駅（東武野田線2駅、新京成線5駅、北総線	↑	138,305人	152,927人	162,292人



<写真⑳>

新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業



<写真㉑>

コミュニティバス運行助成事業

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 緑あふれる快適な魅力あるまちづくり

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
まち並みや景観の満足度	60%	28%	38%	39%
新鎌ヶ谷地区事業所数	340事業所	349事業所	363事業所	375事業所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	都市計画事務に要する経費	担当課	都市計画課
概要	市の都市計画について適正な誘導と計画に沿ったまちづくりを実現するため、都市計画に関する様々な事項を審議会に諮る。また、法令に基づく許可、届出業務を実施し、用途地域等の都市計画情報を提供する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
生産緑地地区の廃止について都市計画審議会を開催し都市計画決定変更の手続きを行うとともに変更後の都市計画図を作成した。		生産緑地地区等の変更に合わせて都市計画図を発注する。	
令和5年度決算額(千円)	4,241	令和6年度予算額(千円)	4,325

事務事業名	景観形成事務に要する経費	担当課	都市計画課
概要	鎌ヶ谷市景観条例に基づき、重点地区の届け出制度及び景観審議会、景観アドバイザーなどの専門的意見の活用、市民と事業者等の理解と協力によって、望ましい景観の確保と誘導を図るもの。		
令和5年度の実績		令和6年度の実績	
令和5年10月30日付けで景観審議会を書面にて開催。景観条例に基づく届出は43件あり、事務処理を行った。景観アドバイザーに諮る案件はなかった。		鎌ヶ谷市景観ガイドラインの見直し方針を作成し、景観審議会による検討を進める。	
令和5年度決算額(千円)	41	令和6年度予算額(千円)	71

施策の柱② にぎわいと活力ある市街地の整備

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
駅前広場整備着手数	2件	2件	2件	2件
新鎌ヶ谷駅の1日当たりの乗降客数	116,000人	91,604人	102,949人	110,526人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	北千葉道路沿線土地利用整備構想策定事業	担当課	都市計画課
概要	市長公約である「北千葉道路の整備を見通したまちづくり」を進めるため、北千葉道路沿線の将来土地利用に係る調査・検討を行い、整備構想を取りまとめる。		
令和5年度の実績		令和6年度を取組内容	
関係機関と協議を行い、「北千葉道路沿線土地利用基礎調査」の業務内容を決定し、委託業務を発注した。		市街化調整区域全域の現況把握、各種法令の整理を行い、市街化調整区域を取り巻く課題を明らかにするとともに、将来土地利用方針の検討を行う。	
令和5年度決算額(千円)	0	令和6年度予算額(千円)	10,000

事務事業名	都市軸形成促進事業	担当課	都市計画課
概要	都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。		
令和5年度の実績		令和6年度を取組内容	
事業に必要な用地を取得するとともに、地質調査を実施した。		用地の確保や事業への理解が得られるよう関係地権者と合意形成を図る。	
令和5年度決算額(千円)	26,844	令和6年度予算額(千円)	7,645

事務事業名	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	担当課	都市計画課
概要	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる広域交流拠点として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
<p>令和5年12月21日付で歩行者専用道路の供用を開始した。</p> <p>⇒P60 写真㉑参照</p>		<p>千葉県が所有する東京10号線延伸新線跡地の取得を目指すとともに、当該地において新鎌ヶ谷駅前にふさわしい土地活用を図る。</p>	
令和5年度決算額(千円)	43,481	令和6年度予算額(千円)	690,481

事務事業名	近隣商業拠点整備事業	担当課	都市計画課
概要	近隣商業拠点の一翼を担う北初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
<p>駅前広場の進入路に必要な用地を取得するとともに、地質調査を実施した。</p>		<p>計画区域内にある所有者不明土地について、相続財産清算人や所有者不明土地管理人の制度を活用するため、裁判所に申立てを行う。</p>	
令和5年度決算額(千円)	61,128	令和6年度予算額(千円)	4,029

施策の柱③ 公共交通体系の充実

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
公共交通に対する満足度	70%	46%	52%	37%
コミュニティバス利用者数	167,000人	106,672人	121,755人	135,607人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	コミュニティバス運行助成事業		担当課	都市計画課
概要	市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図る。 ⇒P60 写真⑳参照			
	令和5年度の実績		令和6年度の実績	
	令和6年度運行については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度提言に基づく運行計画について実施を見送り、令和7年度の運行は現運行を1年間継続することとした。		東武鎌ヶ谷駅「ききょう号」バス停について、上屋ベンチを設置する。 鎌ヶ谷市コミュニティバス運営検討委員会による令和8年度以降の新たな運行計画の検討をする。	
	令和5年度決算額(千円)	81,790	令和6年度予算額(千円)	87,390

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

施策の柱① 商工業の発展と中小企業の経営強化

施策の柱② 企業誘致の推進と雇用環境の整備

施策の柱③ 観光客のニーズの変化に対応した観光施策の推進

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R3	R4	R5
市内の事業所数（経済センサス 基礎、活動調査）	↑	3,178事業所	—	—
製造業の事業所数（経済産業省 工業統計調査）	↑	87事業所	113事業所	113事業所



<写真⑳> 創業支援事業
(創業支援セミナー)



<写真㉑> 観光振興に要する経費
(高校生フォトコンテスト)

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 商工業の発展と中小企業の経営強化

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
創業支援セミナー参加者数	150人	151人	158人	171人
市制度融資実行件数	30件	18件	28件	20件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	商工業振興に要する経費		担当課	商工観光課
概要	市内中小企業等が組織する団体に対して、補助金交付等による支援を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
商工会や商店街団体等14団体に対して、補助金を交付した。		老朽化した商店会街路灯の撤去やLED化を促進することにより、高騰が続いている光熱費等の負担軽減を図ることで、アフターコロナにおける各団体のイベントの開催を後押しする。		
令和5年度決算額(千円)	21,800	令和6年度予算額(千円)	24,282	

事務事業名	中小企業資金融資等に要する経費		担当課	商工観光課
概要	中小企業に対する資金融資の実行や、当該融資における利子補給金の交付等により、中小企業の支援を行う。			
令和5年度の実績		令和6年度の実績		
市制度融資利用者に対し、利子補給率の加算や、信用保証料の補給を行うことで、市内中小企業が資金調達しやすい環境を整えた。		市中金利が上昇傾向にあることから、次年度以降の本市資金融資制度の金利の決定における参考とするため、近隣市等と情報交換の促進を図る。また、市ホームページやパンフレットの配架等により、制度の周知を図る。		
令和5年度決算額(千円)	102,628	令和6年度予算額(千円)	99,246	

事務事業名	空き店舗活用事業	担当課	商工観光課
概要	賑わい創出を図るため、商店会の空き店舗を活用の上、出店する人に対し、店舗改装費等の総額2分の1（上限100万円）を補助する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
1件の補助金交付決定を行った。		より多くの人に活用してもらえよう積極的に事業の周知を行う。また、本事業活用者に対し事業継続に繋がるようフォローアップを行う。	
令和5年度決算額(千円)	1,000	令和6年度予算額(千円)	3,000

事務事業名	創業支援事業	担当課	商工観光課
概要	民間事業者に業務委託し、創業支援セミナーを開催する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
創業支援セミナー（基礎コース2回、実践コース5回、テーマ特化コース3回）及び個別相談会を開催した。 ⇒P65 写真㉓参照		前年度の実施状況を踏まえ、開催方法や開催時期及び期間について検討し、参加者にとってよりよいセミナーとなるよう努め、参加率の向上を図る。	
令和5年度決算額(千円)	2,690	令和6年度予算額(千円)	3,000

事務事業名	コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業	担当課	商工観光課
概要	コミュニティビジネス事業やベンチャービジネス事業を行う対象者に補助金を交付し、新たに起業する人や市内事業者の支援を行う。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
市内で新サービス以外の業務を1年以上継続して営んでいる法人2件に対し、補助金を交付した。		多角的な審査が行えるよう、審査委員を増やすとともに、事業者間の更なる連携に寄与するため、積極的な実績報告会への参加を促す。また、空き店舗活用補助金活用者との交流機会を設け、更なる事業者間の繋がりを図る。	
令和5年度決算額(千円)	2,007	令和6年度予算額(千円)	4,521

事務事業名	キャッシュレス決済ポイント還元事業	担当課	商工観光課
概要	市内の対象店舗における支払いの際にキャッシュレス決済（PayPay）を利用した場合、決済1回につき1,000円相当、期間中合計5,000円相当を上限とし、当該消費者に対し15%分のポイントを付与する。		
令和5年度の実績		令和6年度の実組内容	
11月1日から11月10日までの10日間の実施で、決済額は546,334,184円となり、経済効果が大きく市内事業者及び市民生活の支援に繋がった。		なし	
令和5年度決算額(千円)	78,169	令和6年度予算額(千円)	0

施策の柱② 企業誘致の推進と雇用環境の整備

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
企業誘致件数（累計）	3件	0件	0件	0件
無料職業紹介所の紹介による就職人数	130人	49人	52人	58人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	雇用安定事務に要する経費		担当課	商工観光課
概要	中小企業退職金共済掛金補助金の交付や無料職業紹介の充実及び就職支援セミナー等の開催により雇用の安定化を図る。			
令和5年度の実績			令和6年度の取組内容	
就職支援セミナーや若者を対象とした就職相談を毎月開催し、参加者に無料職業紹介所を周知した。また、市広報等により、中小企業退職金共済掛金補助金や永年勤続優良従業員表彰の周知を行った。			雇用の安定化を図り、求人求職の相談・紹介をしやすいするため、中小企業退職金共済掛金補助金や無料職業紹介所の積極的な周知を行う。併せて、各種就職支援セミナーを近隣自治体と連携して市広報紙・ホームページ・SNSにより周知及び実施し、積極的な就職支援を行う。	
令和5年度決算額(千円)	4,060		令和6年度予算額(千円)	5,043

事務事業名	企業誘致基本計画推進事業		担当課	商工観光課
概要	企業誘致基本計画、企業誘致促進条例及び施行規則に基づき、プロジェクトマネージャーを活用した企業・地権者訪問などを実施するとともに、企業立地奨励金等を活用し、企業誘致の促進を図る。			
令和5年度の実績			令和6年度の取組内容	
配置したプロジェクトマネージャーが中心となって、不動産事業者や金融機関を訪問した。			担当者情報共有会議による市内連携強化に加え、金融機関との更なる連携強化を行っていく。	
令和5年度決算額(千円)	4,084		令和6年度予算額(千円)	5,545

施策の柱③ 観光客のニーズの変化に対応した観光施策の推進

成果指標の名称	目標値	R3	R4	R5
観光入込客数	410,000人	165,851人	195,143人	330,026人
観光イベント参加者の満足度	80%	80%	98.6%	97.3%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	観光振興に要する経費	担当課	商工観光課
概要	観光イベントや観光PR等、本市の魅力発信に資する取組を行う。また、鎌ヶ谷市ふるさと産品協会が実施する宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、交付基準により補助金を支出する。		
令和5年度の実績		令和6年度の取組内容	
<p>観光タウンミーティングを実施し、産官学連携で鎌ヶ谷の新たな名産品となることを目指して商品開発を行った。また、高校生フォトコンテストでは、146点の作品の応募があり、市役所市民ホール及びアクロスモール新鎌ヶ谷で作品のパネル展示を行うことで、千葉県・鎌ヶ谷市の魅力を発信することができた。また、令和6年度に向けてファイターズファーム連携推進室を創設した。</p> <p>⇒P65 写真⑭参照</p>		<p>観光は総合産業という視点のもと、関係部署や事業者と連携し、第2期観光ビジョンに基づいた事業を実施する。また、第2期観光ビジョンで定めた新規アクションの具体的な取組方法について検討する。</p>	
令和5年度決算額(千円)	1,958	令和6年度予算額(千円)	1,107

